

さとち・さとやま (5)里地・里山

※プリントして使用する場合は、見つけた生き物の□
にチェックし、日付をかこう。

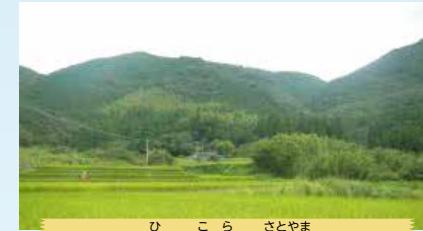
かんさつ 観察

里地・里山は、農地や山林と集落が一体となった地域です。農業や林業が行われ、薪や木炭などがつくられる場、人々の日常生活の場として、長い時間をかけてつくられました。また、すばらしい景色がつくられたり、伝統的な生活文化が伝えられたり、さまざまな生き物がすんでいたり、環境学習や自然体験の場にもなっています。里地・里山にすむ生き物を探してみましょう。

●生き物を探してみよう。

○草花

ススキ、シロツメクサ、ツワブキ、クズ、シマニシキソウ、スペリヒュウ、マルバツユクサ、コミカンソウ、コナギ、ミヅカクシ、キカシグサ、タネツケバナ、ゲンゲ、イヌタデなど



ひこら さとやま
火の河原の里山

田んぼや畑が一面に広がり、山の斜面には、クヌギやスギなどが植えられています。

○樹木

アラカシ、コナラ、スダシイ、クヌギ、アオキなど

○哺乳類

二ホンアナグマ、イノシシ、タヌキ、二ホンイタチ、コウベモグラなど

○鳥類

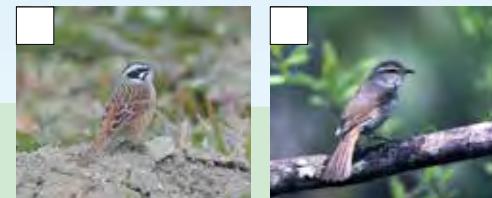
ジョウビタキ、ホオジロ、ウグイス、ハシボソカラス、ヒヨドリ、シジュウカラなど

○昆虫

アオバセリ、ノコギリクワガタ、ゲンジボタル、シオカラトンボなど

○その他

二ホンアカガエル、シマヘビ、アオダイショウなど



ホオジロ
月 日

ウグイス
月 日



二ホンアカガエル
月 日

シマヘビ
月 日



ススキ
月 日

シロツメクサ
月 日

ツワブキ
月 日

クズ
月 日



アラカシ
月 日

コナラ
月 日

ニホンアナグマ
月 日

ジョウビタキ
月 日



アオバセセリ
月 日

ノコギリクワガタ
月 日

ゲンジボタル
月 日

シオカラトンボ
月 日



田んぼや畑が作られなくなり、山に人が入らなくなると里地・里山が荒れて、深い森になってしまい、今までそこにいた鳥や動物、草花などがすめなくなることがあります。

(6) 森林

観察

私たちの身のまわりには、たくさんの森林があります。森林は水を貯え、土砂崩れや洪水を防いでくれたり、生き物のすみかなどにもなっています。森林資源は、家や家具などに使われてきました。森林にすむ生き物を探してみましょう。

●生き物を探してみよう。

○植えられた樹木 スギ、ヒノキなど

タブノキ、マテバシイ、スダジイ、カラスザンショウ、イスノキ、クロマツ、アラカシ、クスノキ、クサギ、ヤブミョウガ、フユイチゴ、カタヒバ、マメヅタなど

○哺乳類 イノシシ、ニホンアナグマ、タヌキなど

○鳥類 アカショウビン、ウグイス、シジョウカラなど



えぼしだけ
烏帽子岳
えぼしだけさんちょうふきんかみさま
烏帽子岳の山頂付近は、神様のすむもりばっさいしじんはやしのこ森として伐採されず、自然の林が残されてきました。イスノキやアカガシなど鹿児島市では高い標高に生える植物からできている貴重な林があります。



てらやま
寺山
こくどうごせんぞへきかけ
国道 10 号線沿いのカルデラ壁の崖の上は、マテバシイなどの森林になっています。



しろやま
城山
しろやましょうじゅりんげんせいりんちかすがた
城山は、照葉樹林が原生林に近い姿で残されていることなどから、国の文化財に指定されています。



スギ
月 日

ヒノキ
月 日

タブノキ
月 日

マテバシイ
月 日

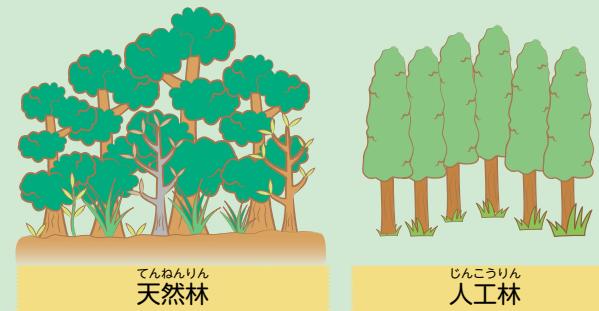


イノシシ
月 日



アカショウビン
月 日

かごしましてんねんりんじんこうりんわりあい
鹿児島市の天然林と人工林の割合はどうなっているか調べてみましょう。



てんねんりん
天然林

じんこうりん
人工林

てんねんりんじんこうりん
天然林と人工林
せん
自然にできたものを天然林、
ひとてしゃりんじんこう
人の手で植林したものを人工
りんよくべつ
林と呼んで区別します。

○ 天然林は、いろいろな樹木からできています。
みずたくわちからつよ
水を貯える力が強く、災害を防ぐ働きがあります。また、生き物にとつてすみかになったり、食べ物を得られる生活の場になっています。

○ 人工林は、家や家具に使う木材を育てるほか、風や雪、砂の害から人々の命や家、畑を守るために植えられたりします。